

流域単位の里山保全と体制づくり

活動地域  愛媛県



被災後放置されていた倒木の撤去作業

課題

当地区は平成30年西日本豪雨で被災。被害拡大の要因に耕作放棄地が挙げられる。遅々として進まない復興活動に住民から不安の声が上がり里山保全への意識が高まっている。

目標

支流域単位で里山見守り隊を結成し、住民による里山保全を行う。耕作放棄地削減の取組み、環境保全、生物多様性の啓発を行い、持続可能な里山保全モデルを構築する。



今後の展望

耕作放棄地となる要因は農業の収益性と耕作地に機械が入らないということが大きい。圃場進入路の拡大をし、モデル農園を中心に無農薬有機栽培の生産とその販売ルートを作り、持続可能な活動の基盤を作りたい。

ひろげる助成

1年目

実践

活動内容と成果

- 地域の豊富な人材を募り、里山見守り隊を結成。林業家、農業従事者等専門分野のリーダーを中心に作業を決め、月1回のペースで活動できた
- 耕作放棄地活用の一環として、持ち主の承諾を得て里山見守り隊基地を作った
- 里山見守り隊基地周辺において里山あそびイベントを開催し、若い親子を招き、里山保全、生物多様性の啓発を行った
- 持ち主の承諾の取れた耕作放棄地から順にモデル農園作りを行い、約50aの麦の作付けを行った



沢から撤去した倒木でシンボルのゲート作り

里山見守り隊参加者 **186人**

耕作放棄地におけるモデル農園の整備 **50a**

今年度計画の達成度 **100%**

目標達成度 **50%**

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

月日の経過とともに、少しずつ薄れていく被災体験と防災意識の中で活動を活発化することには苦勞した。

■ 工夫した点

里山保全だよりを毎月発行し、活動内容の周知に努め、誰でも参加できる「見守り隊」をアピールした。

〒797-0010

愛媛県西予市宇和町明間

1766番地

電話：0894-67-0056

E-mail：kokuoumail@gmail.com

HP：http://www.pikara.ne.jp/donguri-oukoku/

